

My challenge

留学とインターンシップ

目標に向かって 部活とゼミも全力で

幼少期、上海で4年間暮らしていた影響で、異文化との出会いに思い入れがありました。そのため、大学在学中に留学と海外インターンシップの挑戦を目標に設定しました。3回生までは女子バスケットボール部の主将と、欧米のビジネススクールに匹敵する宮西ゼミの勉学に全力で取り組みました。そして留学予定だった昨年、コロナ禍にも挫けずに、1年間休学してNYに渡航しました。留学後、現地でのインターンシップの確保には

非常に苦労しましたが、広告マーケティング企業で、大規模アニメイベントの展覧を担当させていただきました。留学とインターンシップという2つの目標を達成し、帰国することができました。

インターンシップから 将来の方向性を再確認

「美しい盆栽になるな、傷だらけの大木になれ」。これはゼミの教授からの言葉です。就職活動中にこれまでを振り返り、迷ったときは面白さを求めて厳しい道を選び、傷ついたり立ち上がる、そんな人間だと再確認しました。NYでのインターンシップをきっかけに広告会社を受けることを決意し、第一志望の株式会社電通から内々定をいただきました。「彦根から世界へ」。グローバルに躍進する先輩方に追いつけるよう、挑戦を続けます。



広告の世界でグローバルに活躍したい 経済学部

木下 怜香 九州国際大学付属高校(福岡県)